

学校の教育目標と基本姿勢

I 本校の教育目標

あかるく かしく たくましく

*平成31年4月改訂

学校教育には、社会の変化に対応し、主体的にたくましく生きていく資質や能力、すなわち「生きる力」の育成が求められている。本校では、120年の歴史、よき伝統と校風を活かして、「生きる力」の根幹である「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」をバランスよく育む。ただし、本校の実態を鑑み、「豊かな心」を指す「あかるく」という言葉を筆頭の項目とする。

(1)あかるく(徳) 豊かな心を持ち、協力する子ども

人や自然を愛し、美しいものに感動し、互いに認め合う心を育てるとともに、他人の痛みがわかる思いやりの心を育てる。さらに、基本的な生活習慣や社会性を培い、元気に挨拶ができ、分け隔てなく他と接する態度を育てる。

- ①基本的な生活習慣、社会性を身に付け、場に応じた行動ができる。
- ②思いやりの心を持ち、明るく、笑顔いっぱい行動できる。
- ③感性を磨き、ものごとに感動し、表現することができる。

(2)かしく(知) 高い知性を持ち、創造する子ども

基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、自分の思いや願いを発表し、自力で解決する力を育てる。さらに、教育活動全体を通して主体的に取り組む姿勢と自ら学ぶ力を育てる。

- ①基礎的・基本的事項の定着を図ることで、工夫してものごとを解決できる。
- ②自分の考えを持ち、堂々とみんなの前で表現することができる。
- ③見通しを持ち、筋道を立てて考えることができる。

(3)たくましく(体) 健康な心身を持ち、粘り強く実践する子ども

体力の向上を図るとともに、健康・安全に対する意識を高め、自らの健康管理能力を育てる。さらに、心身ともに健康で安全な生活を営む習慣を身に付け、生命を尊ぶ心や態度を育てる。

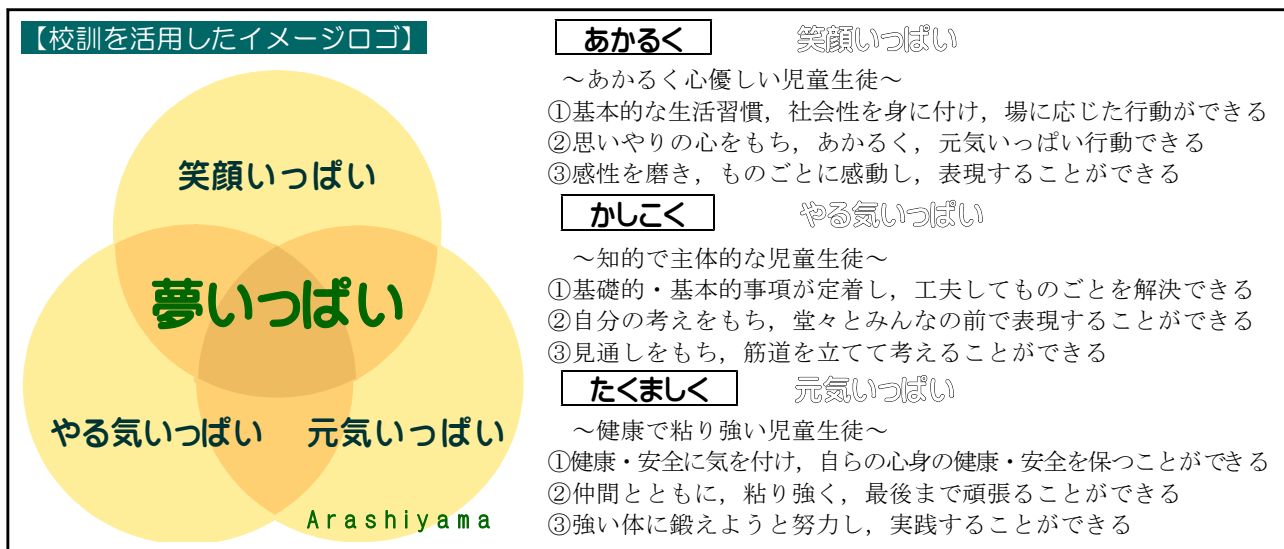
- ①健康・安全に気を付け、自らの心身の健康・安全を保つことができる。
- ②仲間とともに、粘り強く、最後までがんばることができる。
- ③強い体に鍛えようと努力し、実践することができる。

II 校訓

*平成11年 開校100周年を機に制定
*平成31年4月一部改訂

永遠に輝け 夢いっぱいの笑顔

【校訓を活用したイメージロゴ】



III 基本姿勢

めざす児童生徒の姿	めざす教師の姿
☆あかるく(徳) 「笑顔いっぱい」 明るく心優しい児童生徒 ☆かしこく(知) 「やる気いっぱい」 知的で主体的な児童生徒 ☆たくましく(体) 「元気いっぱい」 健康で粘り強い児童生徒	☆児童生徒の心を情熱をもって育てる教師 ☆児童生徒を認め、褒め、励まし、確かな学力を育てる教師 ☆児童生徒、保護者、地域に信頼される教師 ☆認め合い、褒め合い、励まし合いのできる教師集団

「学年別」めざす児童生徒の姿				
	あかるく(徳)	かしこく(知)	たくましく(体)	
小 学 生	低学年	◎明るく、仲良く、楽しく過ごすことができる。	◎めあてに向かって、自分の考えをもち、楽しく学習することができる。	◎約束を守り、元気に活動することができる。 ・安全に気をつけて元気に遊ぶことができる。
	中学年	◎素直な心で、友だちとのびのびと過ごすことができる。	◎課題を見つけ、自分なりの考えや方法をもち、進んで学習することができる。	◎自分で決定し、最後まで努力することができる。 ・健康安全に気をつけて過ごすことができる。
	高学年	◎相手の立場を考えて、前向きに過ごすことができる。	◎自ら課題を設定し、自己の考えや方法などを表現し積極的に学習を深めることができる。	◎友と励まし合いながら粘り強く最後までやりとげることができる。 ・進んで身体をきたえることができる。
中 学 生	1年生	◎誠実に行動し、友と協力し合い、認め合い、自分の良さを伸ばすことができる。	◎課題を自主的に設定し、解決に向け自己の思考を他とともに深め合い、主体的に取り組み表現することができる。	◎目標を主体的に設定し、友と励まし合いながら取り組むことができる。 ・合理的に体力、健康を保持増進できる。
	2年生	◎多様な個性を認め合い、自己や他者の良さを伸ばすことができる。	◎目標を主体的に設定し、友の良さを認め、計画的、効率的に工夫して取り組み、表現することができる。	◎目標を主体的に設定し、友の良さを認め、自ら立てた計画に沿って最後まで取り組むことができる。 ・体力、健康の維持や改善ができる。
	3年生	◎個を尊重し合い、自己の行動に責任をもち、向学心をもち続け、主体的に生活することができる。	◎目標に向かい、学習計画、学習方法、学習内容を改善し、粘り強く取り組むことができ、TPOに合わせて、適切に表現することができる。	◎常に向上心をもち、新たな目標に向かって、計画的に最後まで取り組むことができる。 ・体力、健康の保持増進のため自己の課題を主体的に解決できる。